

MINI MINE

平成30年度第1回 鉱業博物館サイエンスボランティア研修会

平成30年9月28日(金)と9月29日(土)の2日間、平成30年度第1回鉱業博物館サイエンスボランティア研修会を行いました。この研修会は、平成30年度秋田大学公開講座「阿仁鉱山の歴史と史跡を訪ねて」に参加する方たちで1日目は講演会の聴講、2日目は現地の巡検を行いました。阿仁鉱山の歴史や、鉱山開発と経済、交通とのつながりなどについて詳しく学びました。1日目、2日目ともに、サイエンスボランティア(以下SV)を含め50名近くの方が参加しました。

1日目



1日目は鉱業博物館講堂で、今井 忠男 鉱業博物館長による講演「阿仁鉱山の歴史と史跡を訪ねてー秋田の文化と鉱業のつながりー」を聴講しました。

講演では、明治35年(1902年)に奥羽本線が開通する以前の、銅と米の運搬ルートについての説明がありました。粗銅は銀山町から小型の舟で阿仁川を下り、加護山製錬所で精製され、米代川で長舟に載せ替えて能代湊まで運ばれたそうです。そして、北前船で大坂へ出荷されていた、とのことでした。また、阿仁には仙北から大覚野街道を通じて米が運ばれてきていました。この阿仁を中心に南北に延びるルートには、現在、秋田内陸縦貫鉄道が通っており、今でも交通ルートとして重要な役割を果たしている、と語りました。

2日目の巡検が待ち遠しくなるような講演に、SVの皆さんは興味深げに耳を傾けていました。



今井 忠男 鉱業博物館長



講演会の様子

2日目



2日目は、今井 忠男 鉱業博物館長を中心に、阿仁鉱山に関連する史跡の巡検を行いました。午前中は、阿仁歴史・史跡研究者 戸嶋 喬氏、阿仁合駅周辺ガイドの皆さんの案内のもと、阿仁銀山町を巡り、北秋田市阿仁郷土文化保存伝承館の見学をしました。午後は、能代市二ツ井の道の駅ふたつ、岩関神社を見学し、さらに能代公園から旧米代川河口を見学しました。

阿仁地区



明治から昭和にかけての阿仁鉱山施設の写真と現在の様子が比較できるボードを見ながら、ガイドの説明を受けました



長福院観音寺
元禄2年(1689年)に佐竹藩の祈願所として建てられました
鉱山繁栄を祈っていたそうです



製錬の過程で、銅が回収されたあとに残る「カラミ」は、今でも土留めや基礎などに使われています



専念寺
西側の河原には、銅を送り、米を荷揚げする舟場がありました

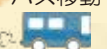
二ツ井地区

バス移動



「道の駅ふたつ」内から、米代川や明治天皇がご巡幸された御幸橋を望みました

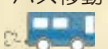
バス移動



岩関神社
江戸初期に、惣山奉行として秋田の鉱山開発を指揮し、岩堰用水路開削工事を指導した梅津政景を祀っています

能代地区

バス移動



能代公園より旧米代川河口を見学
能代湊で北前船に銅を載せ、大坂へ出港した様子が想像できます

2日間に渡った研修、お疲れ様でした!

平成30年度第3回 鉱業博物館開放講座 が開催されました



川上 洵先生

平成30年9月28日(金)平成30年度第3回鉱業博物館開放講座が開催されました。講師は秋田大学名誉教授 川上 洵氏が務め、「ポリマーコンクリート国際会議2018からみたポリマーとインフラメンテナンス」と題して講演を行いました。

講演では、今年の春にワシントンD.C. で行われた、第16回ポリマーコンクリート国際会議で発表されたポリマーコンクリートに関する研究開発動向と、インフラストラクチャーによる建築物のメンテナンスへの貢献について紹介されました。ポリマーセメントコンクリートとは、石や砂利などの骨材のつなぎに、ポリマー粒子を使ったものです。ポリマーセメントの硬化するまでの特長は、砂や石と混ぜやすく作業がしやすいことであり、硬化してからの特長は、ポリマーがフィルム

となって遮蔽性が向上し、コンクリートの劣化を防ぐことです。そのため、損傷箇所を修復する際にポリマーセメントがよく使われている、とのことでした。具体的な使用例として、左官こてによって断面修復材を塗布する工法が紹介されました。今後、コンクリートポリマー材は、植物油や大豆を使った応用樹脂としての材料開発が進められ、また、防菌ポリマーや形状記憶するスマートポリマーとしての利用もされていこう、と述べられました。

その他、会議が行われたワシントンD.C. にある名所、リンカーン記念館や国会議事堂、ワシントン記念塔などの紹介もありました。講演の最後には質疑応答も活発に行われ、講演会は盛況のうちに終了しました。



多くの方に参加していただきました

にぎわい交流館AU 出張展示 誕生石

リニューアルしました!

標本の入れ替え作業



鉱業博物館では、当館所蔵の貴重で珍しい標本を多くの方に見て頂くため、秋田市中通のエリアなかいち内「にぎわい交流館AU」で、標本の一部を出張展示しています。

平成30年10月5日(金)、標本の入れ替え作業を行いました。今回のテーマは「誕生石」で、ガーネットや紫水晶など、1月から12月までの誕生石の原石を展示しました。標本を入れ替えるにあたり、鉱業博物館実習生が主体となって展示内容の企画、説明パネルの作成などの準備を進めてきました。当日は、配置や照明の調整をし、美しく見えるよう丁寧に標本を配置していきました。

展示場所は、エリアなかいち「にぎわい交流館AU」1階、カフェラウンジの前です。近くにおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。

展示を一新しました
ぜひご覧ください!



お知らせ

冬季及び年末年始の休館日について

平成30年12月から平成31年2月までの期間、**日曜日・祝日は休館**いたします。

また、**12月26日(水)から翌年1月6日(日)までの期間は休館**いたします。

鉱業博物館無料開放予定

11月3日(土・祝日)

11月4日(日)

教育・文化週間にちなみ、無料開放します
ご来館をお待ちしております

平成30年度「東北文化の日」 事業に参加しています

東北6県と仙台市は、毎年10月の最終土曜日とその翌日の日曜日を「東北文化の日」としています。これは、県域を越えて東北地方の多様な文化に親しめるように設けられたもので、平成30年度の「東北文化の日」は10月27日(土)と10月28日(日)です。

鉱業博物館ではこの事業に参加しており、**平成30年10月27日(土)から11月25日(日)までの期間中、「東北文化の日ガイドブック」を持参された方は、入館料を無料**とさせていただきます。ガイドブックは参加施設の他、東北6県の公立文化施設で配布しています。

詳細はウェブサイトをご覧ください

東北文化の日

検索



ガイドブックの表紙